

# SGEC 分別・表示事業体審査報告書

認定統合事業体  
アイランドグループ

平成19年6月

(社)全国林業改良普及協会

## 目 次

I. アイランドグループの概要

II. 審査経過・確認資料一覧・写真

III. 審査における判定事由書

IV. 添付資料（主な確認資料）

V. 審査判定表

## 1. アイランドグループの概要

1. 申請者名称・所在地 株式会社 アイランド 代表取締役 亀頭 隆行  
福岡市中央区舞鶴1-1-3 リクルート天神ビル2階

2. 認定統合事業体 アイランドグループ 4社

### 【アイランドグループ4社の概要】

| 社名             | 代表者  | 所在地                          | 事業内容  | 年間実績<br>(18年度)                  | 年商<br>(千円) |
|----------------|------|------------------------------|---|---------------------------------|------------|
| 株式会社<br>アイランド  | 亀頭隆行 | 福岡市中央区舞鶴1-1-3<br>リクルート天神ビル2階 | 戸建住宅開発事業<br>マンション分譲事業<br>不動産の売買・賃貸<br>及び仲介事業<br>不動産の管理運営・<br>運用事業<br>上記に付随する不動産<br>コンサルタント業 | マンション<br>39戸<br><br>戸建住宅<br>32戸 | 1,850,713  |
| 株式会社<br>リスタシワ  | 亀頭隆行 | 同上                           | 一般住宅<br>スウェーデンホームの輸入販売  | 18棟                             | 400,000    |
| 有限会社<br>キットハウス | 柏原俊雄 | 同上                           | 設計・基礎・上棟・屋根<br>工事までを施工し、内装<br>をセルフビルド<br>・一般住宅<br>・小さな別荘<br>・ガレージハウス                        | 5棟                              | 55,148     |
| 株式会社<br>リスタ    | 亀頭隆行 | 同上                           | 磁気炭波動工法の施工<br>その他商品の企画・開発   | 29件                             | 34,596     |

3. 認定対象業種

建設業

一般住宅・集合住宅建築設計・施工・販売  
住宅リホーム、木製品販売

#### 4. 沿革・概要

アイランドグループは、福岡県を中心に不動産開発など多岐の事業を展開している株式会社アイランドを中心とする企業グループである。

アイランドグループは、賢い幸福生活(「賢幸生活」)の実現を企業目標として掲げ、事業は、戸建て住宅の開発からマンション分譲などの不動産売買・賃貸及び仲介、管理運営、コンサルティングなど多岐にわたっている。

今回の申請は、先に SGEC 事業体認定を受けた宮崎県の「(株)川上木材」や「ランバー宮崎協同組合」と連携しての取組で、(株)アイランド及びグループ内の住宅開発に携わる関連子会社3社が、統合事業体としての認定を受け、SGEC 認証材を使用した「宮崎県産材を使用した森林認証の家」を建築して、消費者への積極的なPRを図ろうとするものである。

今後さらに、新築マンションやリフォーム、キットハウス等への SGEC 認証材利用も計画している。

#### 【沿革】

|          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| 1994年6月  | 有限会社アイランド設立<br>(中古マンション・一戸建ての仲介)      |
| 1995年6月  | 株式会社に組織変更                             |
| 2000年11月 | 健康住宅への研究開発チーム発足                       |
| 2001年11月 | 第1回社債発行                               |
| 2002年9月  | (有)キットハウス設立<br>(ハーフビルド「ナチュラルスタイルの家」)  |
| 2002年11月 | 第2回社債発行                               |
| 2003年11月 | 東京支店開設                                |
| 2003年12月 | 第3回社債発行                               |
| 2006年4月  | 株式会社リスタシワ設立<br>(スウェーデンホームの輸入販売)       |
| 2006年5月  | 株式会社リスタ設立<br>(安心生活倶楽部、リスタ生活デザイン研究所立上) |

#### 5. 分別・表示管理体制

「認証林産物の分別・表示管理方針書」及び「SGEC 認証林産物分別・表示管理体制」を定めており、本社の発注・受入管理のもと3つの子会社において(株)川上木材から納入されたSGEC 認証林産物とそれ以外の林産物の受入・保管・加工・施工の各段階で混在しないよう分別・表示管理することとしている。

具体的な SGEC 認証材の流れは、アイランドグループで設計・発注された CAD 情報(設計図書など)をもとに、(株)川上木材が宮崎県内の SGEC 認証材を供給し、ランバー宮崎協同組合のプレカット工場で加工し、各子会社の建築現場に届けることとしている。

なお、現場では、各子会社の担当責任者のもとで、専用場所に分別・保管し、施工時にもSGEC認証材の使用場所の確認と表示に留意することとしている。

#### (主な確認資料)

- ・ 設計図面・仕様書
- ・ 認証林産物の分別・表示管理方針書
- ・ SGEC 認定統合事業体認証林産物分別・表示管理体制図  
(管理計画図)
- ・ SGEC 認証材注文書・納品書(案)

## Ⅱ. 審査経過・確認資料一覧・写真

### 1. アイランドグループの審査経過

アイランドグループの審査は、(社)全国林業改良普及協会認証審査センターの児島裕、野田昭一、鳥越貞雄の3名が行った。

#### 【審査申込】

平成19年5月1日／審査申込

(内 容)

1. 全林協の審査手順についての説明
2. 審査申込書の受付
3. 確認資料の説明

#### 【認定審査】

6月7日／書類確認及び現地確認

(場 所)

株式会社アイランド本社及びモデル住宅・マンション建築現場

(審査員)

|               |       |    |    |
|---------------|-------|----|----|
| (社)全国林業改良普及協会 | 審査員   | 児島 | 裕  |
| 同             | 専門審査員 | 鳥越 | 貞雄 |

(出席者)

|           |       |    |    |
|-----------|-------|----|----|
| 株式会社アイランド | 代表取締役 | 亀頭 | 隆行 |
| 株式会社 リスタ  | 執行役員  | 宮崎 | 行雄 |
| 同         |       | 齊田 | 哲哉 |

(内 容)

1. 株式会社アイランド本社において事業の概要、現行の建築事業における木材の流れ・管理の仕組み等について、更に事業体認定を取得した後の分別・表示の考え方や管理方針、管理計画・体制等について説明を受け、併せて関連資料の審査を行った。
2. モデルハウス建築現場で、木材の利用状況・管理状況の確認を行った。
3. 現場担当者に事業体認定を取得した後の分別・表示の考え方や管理方針、認証林産物の管理計画、分別・表示管理体制等について説明を行い実行意思を確認した。

## 6月20日／審査委員会(書類審査)

「認定審査」に基づいた審査結果を各審査委員に報告し、審査判定を行った。

### (委員名)

|                     |       |
|---------------------|-------|
| 元東京大学教授・農学博士        | 山根 明臣 |
| 東京農業大学教授・農学博士       | 河原 輝彦 |
| 木構造振興株式会社専務取締役・農学博士 | 西村 克美 |
| (社)日本育種協会理事長        | 真柴 孝司 |

### (事務局)

|                    |       |
|--------------------|-------|
| (社)全国林業改良普及協会 専務理事 | 渡辺 政一 |
| 同 認証審査センター         | 児島 裕  |
| 同 認証審査センター         | 野田 昭一 |

### (内 容)

1. 現地確認審査の結果を報告するとともに、SGECの定める「認定審査」基準事項に基づき設定した「審査要件」について審査内容を説明した。
2. 提出資料、各作業の現地写真及び各作業の工程管理の仕組み、審査判定表による判定の内容等からいって、申請者は認定に値する事業体であるものと認められた。

### Ⅲ. アイランドグループの審査における判定事由書

S G E Cの定める「認定審査」基準事項に基づき、「アイランドグループ審査判定表」のとおり、10項目を審査要件とした。

これら「審査要件」に基づいて、「審査」を行い、審査委員に諮ったところ、アイランドグループは、認定に値する統合事業体であるとして判定された。

#### 基準 1 経営の健全性

##### 1-1 / 妥当である

**持続的に事業活動を行いうる事業体であること。**

アイランドグループ（福岡県福岡市中央区）は、戸建て住宅開発から、マンション分譲などの建設・不動産売買・賃貸及び仲介、管理運営、コンサルティングなど多岐の事業を展開する株式会社アイランドと、住宅開発に携わる関連子会社3社からなる企業グループである。

親会社の株式会社アイランドは、1994年に不動産仲介業としてスタートし、その後福岡市周辺を主な営業圏として戸建て住宅やマンション分譲等、順調に業績を上げてきている事業体であり、今後継続して事業活動が行われるものと予測される。

##### 1-2 / 妥当である

**経営指標に照らし、財務状態が健全であること。**

財務状況に問題は見あたらず、各社の経営状態は安定していると判断した。

#### 基準 2 認証林産物取扱の業態

##### 2-1 / 妥当である

**認証林産物を取り扱う事業体として、事業目的および内容が適合していること。**

賢く幸福な暮らし方(賢幸生活)の提案を掲げ、分譲マンションに床下木炭敷設やスギ7寸角の芯持「大黒柱」を導入するなど、自然素材や木材にこだわった工法を導入している。また、福岡市郊外の久山町に開発した分譲住宅地では、伝統を生かした大断面軸組工法による100年以上の永持ち住宅や、セルフビルドの提案など、新しい木造住宅の開発にもグループとして積極的に取り組んでいる。

## **2-2 / 妥当である**

**認証森林所有者・管理者または認定事業体と反復継続して取引関係にあること。**

株式会社アイランドは、先に SGEC 事業体認定を受けた宮崎県の「(株)川上木材」や「ランバー宮崎協同組合」とは、大断面芯持材の発注を通じて昨年来、取引関係にある。今後さらに、マンションや住宅リフォーム、キットハウス等への SGEC 認証材利用の拡大を計画している。

## **2-3 / 妥当である**

**認証林産物の普及および利用促進、新たな用途開発について意欲的であること。**

アイランドグループの商品企画を主に担当している株式会社リスタは、木炭を利用した磁気健康増進工法(特許申請中)を開発するなど、これまでに健康と環境にこだわった商品開発に熱心に取り組んできている。

また、マンション居室にスギ7寸芯持材を「大黒柱」としてシンボリック的に使用する取組もユニークである。

今回の申請は、上記宮崎県の二社と連携しての取組であり、SGEC 認証材を使用した「宮崎県産材を使用した森林認証の家」を建築して、消費者への積極的な PR を図ろうとするものである。

## **基準3 分別・表示管理運営の体制**

### **3-1 / 妥当である**

**認証林産物の分別・表示管理に係る計画を立てていること。**

アイランドグループでは、「SGEC 認証林産物の分別・表示管理方針書」及び「認証林産物分別・表示管理体制」を作成し、分別・表示管理責任者のもとでグループとして一元的な分別・表示管理にあたる計画である。

### **3-2 / 妥当である**

**認証林産物の分別・表示管理を行う体制が整っていること。**

アイランドグループ「認証林産物分別・表示管理計画図」に示すとおり、本社、子会社に責任者を配置し、管理体制を整えている。

具体的には、「認証林産物の分別・表示管理方針書」に基づき、本社の分別・表示管理責任者の発注・受入管理のもと、3つの子会社の担当責任者が現場で、SGEC 認証林産物とそれ以外の林産物の受入・保管・加工・施工の各段階で混在しないよう分別・表示管理することとしている。

### **3-3 / 妥当である**

**分別・表示管理を担当する管理責任者を設置していること。なお、管理責任者に適正な研修を行っていること。**

アイランドグループでは、分別・表示管理を担当するSGEC認証林産物管理責任者及び現場担当者を配置し、トレサビリティに関する研修を随時行うこととしている。また、その他の従業員においてもミーティング等により、SGEC分別・表示管理方針の周知徹底を図ることとしている。

### **3-4 / 妥当である**

**伝票など帳票類を作成・保存すること。なお、認証林産物と非認証林産物のコード番号は明確に区別すること。**

現地確認により、伝票などの帳票類は適正に管理・保管されていることを確認した。

認定取得後は、専用の注文・納品・請求書を使用することとしており、認証林産物と非認証林産物とのコード番号を明確に区別することとしている。

### **3-5 / 妥当である**

**定期的に棚卸記録などにより、保管数量の管理を行うこと。**

現地確認により、原料及び製品などについて定期的に棚卸を行っていることを確認した。

なお、伝票などの帳票類を保存し、認証林産物の流通・情報の交換、開示に備えることとしている。

## **IV. 添付資料（主な確認資料）**

- ・ 設計図面・仕様書
- ・ 認証林産物の分別・表示管理方針書
- ・ SGEC 認定統合事業体認証林産物分別・表示管理体制図  
(管理計画図)
- ・ SGEC 認証材注文書・納品書(案)